

令和2年度北海道科学技術賞受賞者功績概要

| | |
|--|--------------|
| 氏名 | 本望 修（56歳） |
| 所属・職名 | 札幌医科大学医学部・教授 |
| <p><功績名> 「脊髄損傷患者に対する新しい再生医療の開発と実用化」</p> <p><功績の内容> 1989年に札幌医科大学を卒業後、脳神経外科医として研鑽を積むと同時に、米国エール大学へ留学し、神経再生に関する基礎的研究に従事し、顕著な業績を挙げた。帰国後、札幌医科大学で、脊髄損傷に対して骨髄間葉系幹細胞が著明な治療効果があることを世界で初めて見出した。</p> <p>氏は札幌医科大学にて、一貫して神経再生医療学研究を継続してきており、本プロジェクトに関連する発表論文等は80編以上であり、総引用回数は8437件を超えている。その結果、脊髄損傷患者の神経障害を改善できる再生医療治療薬を世界で初めて開発し、実用化した。</p> <p>現在、札幌医科大学では、脊髄損傷患者に対する再生医療を世界で初めて実用化している。また、これらの新しい再生医療を新薬として開発・実用化しているので、本州の製薬メーカーの道内誘致や、新薬の道内製造販売による雇用促進や経済効果の拡大にも重要な役割を果たしている。</p> | |

注）年齢は令和2年（2020年）4月1日現在